

報道関係各位

2015年12月22日
成城大学

小澤征爾氏に「成城大学名誉博士号」を授与

成城大学（東京都世田谷区 学長：油井 雄二）は、このたび「成城大学名誉博士号」の制度を創設し、その第1号として世界のマエストロの小澤征爾氏に成城大学名誉博士号を授与し、小澤氏の学術文化への貢献を称えます。

成城大学名誉博士の称号は、学術文化の発展について特に顕著な貢献があり、本学において顕彰することが適当と認められる方、もしくは本学の教育研究の発展に特に顕著な功績があった方に授与するものです。

小澤征爾氏は、その世界的音楽活動を通して学術文化の発展に多大な貢献をされるとともに、成城学園中学校卒業生で成城学園とも深い関わりをもち、名誉博士の称号を授与するに最もふさわしい人物であり、ここにその功績を称え、成城大学名誉博士号を授与いたします。

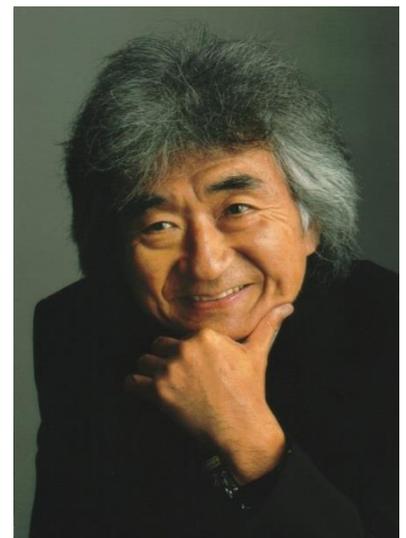
なお、授与式の日程は2016年3月で現在調整中です。決定次第、改めてお知らせいたします。

【小澤 征爾（おざわ せいじ）氏 略歴】

1935年、中国のシャンヤン（旧奉天）生まれ。幼いころからピアノを学び、成城学園中学校を経て、桐朋学園で齋藤秀雄に指揮を学んだ。

1959年、ブザンソン指揮者コンクールで第1位を獲得。当時ボストン響の音楽監督であり、このコンクールの審査員であったシャルル・ミュンシュに翌夏タングルウッドに招かれた。その後、カラヤン、バーンスタインに師事、ニューヨーク・フィル副指揮者、シカゴ響ラヴィニア・フェスティバル音楽監督、トロント響音楽監督、サンフランシスコ響音楽監督を経て1973年にボストン交響楽団の第13代音楽監督に就任。アメリカのオーケストラ史上でも異例の29年という長期にわたって務め、アメリカ国内はもとより、オーケストラの評価を国際的にも高めた。

これまでに、フランス・レジオン・ドヌール勲章オフィシエ、日本国文化勲章、ケネディ・センター名誉賞をはじめ国内外で多くの賞を受賞。



©Shintaro Shiratori